

「特色あるフロンティアスクールの取組事例」

都道府県番号	37
都道府県名	香川県

( )

・学校名及び規模

高松市立亀阜小学校										
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	みねやま 施設内学級	障害児	計	教員数
学級数	3	4	3	4	3	4	2	4	27	43
児童数	115	152	118	157	118	157	4	13	834	

・実践研究の概要（主題（テーマ）及び設定の趣旨）

- ・主題（テーマ）分かる喜び，学ぶ楽しさを追求する学習活動の創造
  - － 子どもの課題意識が連続する学習活動の工夫と評価の在り方 －
- ・テーマ設定の趣旨
 

分かる，という喜びが必然的に友達との交流を求め，自分らしさや自分のよさにも気付いていく。その積み重ねで子どもたちは，できる自分に気付き，学ぶことの楽しさを感じていくことができる考えた。

そこで，今年度は，研究主題を「分かる喜び，学ぶ楽しさを追求する学習活動の創造」とし，授業が楽しい，と言える子どもたちに育てている。

また，子どもの学びの姿を見つめて伸ばす，という視点から，サブテーマを「子どもの課題意識が連続する学習活動の工夫と評価の在り方」とした。子どもたちみんなが見通しをもって学習に取り組んでいけたり，子どもたち自身が自分のよさや自分らしさに気付いたりできるような評価の方法も考えていきたいと考えた。

・実践研究の内容について

- ( ) 研究体制の工夫
 

全員で少人数指導（複数担任制）の研究に取り組む。授業実践による研究とよりよい実践の公開を行うことで，教員全員の意識を少人数指導に集中させていく。
- ( ) 実践研究の内容
  - 1 少人数授業（複数担任制）の工夫
 

個に応じた指導の工夫

    - ・基礎基本を身に付けるために
    - ・発展的に力を伸ばすために
    - 課題意識が連続する評価の工夫
    - ・自分の伸びに気付くために
    - ・自分のよさに気付くために
  - 2 日々の学習をサポートする時間や活動
 

なっとくタイム（行事のない木曜日の 13:50～14:50）

子どもたちの興味関心に応じて，希望者が自分で見つけた学習を行う時間

表現活動（毎週水・木曜日の 8:20～8:40）

「話す・聞く・書く」「描く」「身体表現」「歌う」など，多様な表現力を支えるスキル面の育成を段階的に行う。

学習の時間（毎月第 4 金曜日 15:00～15:45）

6 校時として補習授業を行う。

学級の時間（毎週金曜日 8:20～8:40）

漢字，計算のドリルを繰り返し行う。

( ) 成果と課題

本校では、子どもたち一人一人が確実に基礎・基本の内容を身につけたり、発展的な力を伸ばしたりするために、より細かな単元計画や評価基準表を作って、子どもたちが自分に合ったコースで学習を進められるようにした。また、毎日の学習のあとや自分のがんばり等が一目で分かるような自己評価カードの工夫も行ってきた。一時間一時間の授業を大切に、できるだけ配当時間内で成果があがるよう努力してきた。しかし、それでもなお、授業だけでは追求しきれない、という子どもたちのためには、なっとくタイム（木曜日の午後1時間程度）や学習の時間（毎月第4金曜日6校時）を設け、納得のいくまで学習ができるようにした。

その結果、子どもたちの自己評価カードに書かれている内容が以前にもまして意欲的になったり、学習への理解度が増したりしていることを実感している。そのことは、学習状況調査結果や保護者向けに行った少人数授業についてのアンケート結果からの客観的なデータからも実証できた。

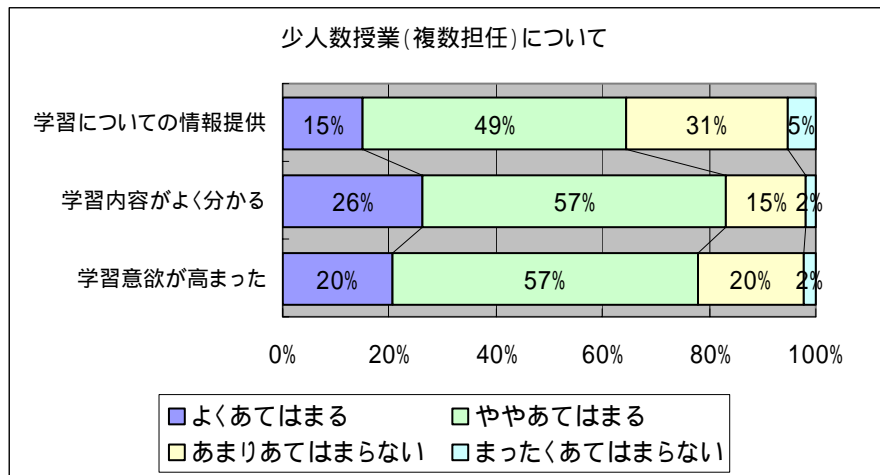
保護者に向けて少人数授業についてのアンケート実施結果より

亀阜小学校の教育活動について、保護者評価をいただくためのアンケートの中で、少人数授業に対する保護者の意識も調査した。

その結果、下のようなアンケート結果が得られた。約8割の保護者は、学習内容もよく分かる、学習意欲も高まった、と評価している。わたしたちは、この結果を大変うれしく感じたと同時に、全員の子どもたちから「よく分かった。楽しい。」という声が聞かれるように努力していかなければならないと考えている。数名ではあるが、まったくあてはまらないという反応にも、学校として何が十分でないのか謙虚に考えていきたい。

アンケート結果

平成14年11月実施



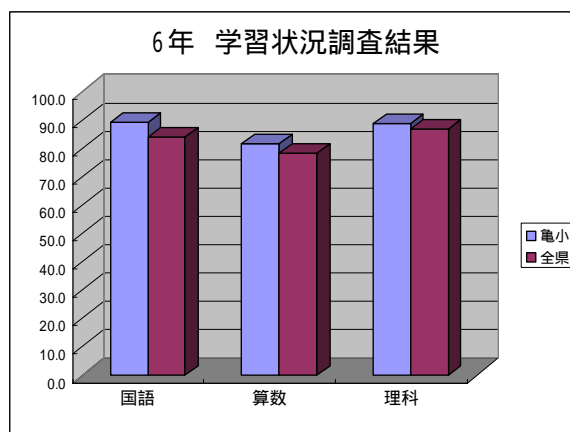
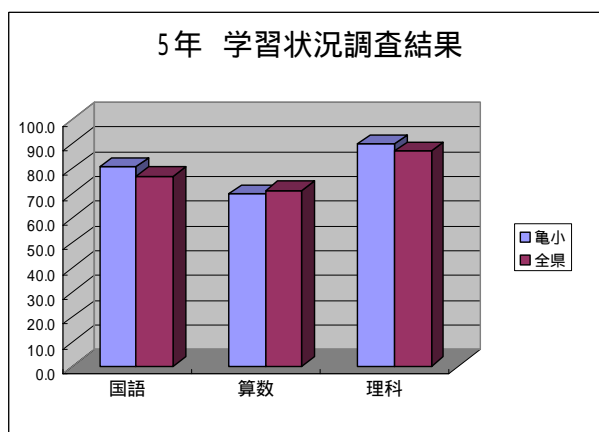
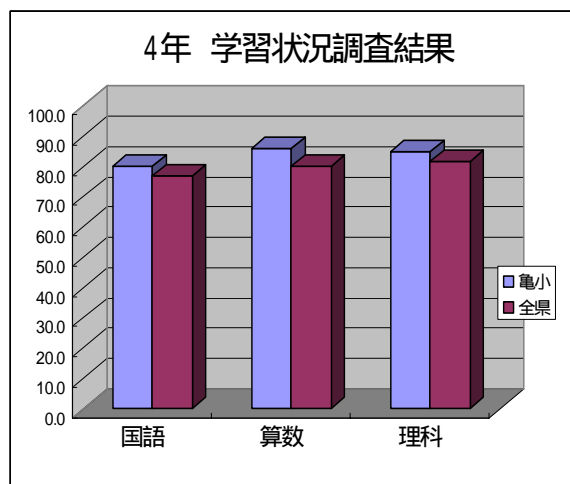
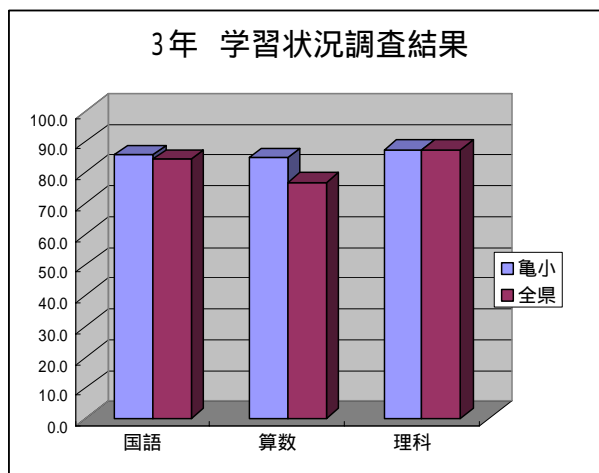
子どもたちの自己評価カードより

納得度・集中度・コミュ度の項目を入れて自己評価カードを工夫したことで、子どもたちは、自分どの程度学習内容を理解しているのか、気持ちは集中していたのか、など客観的に考えられるようになった。また、感想を文章で書くことで、もう一度学習したことのまとめができています。さらに、次時のめあてを書くことで、学び方のめあてもはっきりするようになってきた。

算数評価カード  
6年2組 名前( )

日付	納得度	集中度	コミュ度	感想	次時のめあて(学び方)
11/25	2	3	4	体育館のまじりに おる事が多い	面積の求め方 かんは3
11/27	2	3	3	体育館の求め方が わかりました。また またおる事が多い おる事が多い	面積の求め方 かんは3
11/28	4	4	2	見聞や屋陰回から おる事が多い	面積の求め方 かんは3
11/29	2	4	4	体育館の求め方が わかりました。また またおる事が多い	面積の求め方 かんは3

## 学習状況調査結果の分析より



各学年ごとに、学習状況調査結果を「伸びている力」「不足している力」「これからの対応」という観点で分析してみた。そうすると、どの学年も算数・理科のほとんどの領域で香川県平均より高い水準を得ていることが判明し、本年度の取組の成果であるととらえている。しかし、テストの項目別に細かく見ていくと、なお一層つけていかなければならない力もはっきりしてきた。今後は、そのような偏りがなくなるような学習を工夫していこうと考えている。

### 今後の課題

少人数指導は、基礎・基本の内容の定着に大きな効果があることは確実である。今年度、算数と理科で成果を上げている少人数授業を、来年度は、国語にも広げていきたい。そのための基礎研究を3学期から始めたい。亀卓の子どもたちに不足している「文章を読みとる力」を少人数指導を通して、しっかりとつけていこうと考えている。

来年度も、現職教育の研究内容は「少人数授業の研究」にしぼり、より個に応じた指導方法や自己評価を生かした指導体制を工夫改善していきたいと考えている。また、複数のクラスをグループ分けする方法による、担当者の担当時間の減少を個別指導や他教科等の指導に生かす方法、今まで以上に子どもにより適したコース分けなど、さらなる工夫もしていきたい。

### ( ) 成果の普及方策

学習状況調査結果や保護者の学校評価等のデータを亀卓小学校ホームページに掲載し、少人数指導の成果を広くアピールしたい。

また、県内外からの参観視察も多いことから、本校の取組の詳細や成果を広めていきたい。